

- 分別方法を知らない人も一定数いた
 - 実際のゴミ置き場ではゴミが散乱している場所もあった
- 課題の本質は 人々の意識の違い にあると感じた。



④ 自分の地元（三島市）との共通点を発見した
チャールズ川の環境改善の歴史は、
三島市の源兵衛川の再生と非常に似ていた。

- どちらもかつては汚染が深刻
- 市民・行政・企業の協力で改善
- 「川を大切に思う文化」が改善の原動力



異なる国でも、自然を守ろうとする気持ちは共通していると実感した。

⑤ “人と人の化学反応” を体験した

内向的だった自分が積極的に話しかけ、街の人に質問し行動できるようになった。
アメリカの人々のポジティブさに触れ、自分の性格にも少し変化が生まれた。

6. アンバサダー活動

語学学校では、日本のお菓子、折り紙を配った。

ホストマザーには日本の浴衣をプレゼントして、ホストマザーの家族に折り紙を教えて一緒に折ったり、バーベキューのときに日本の食べ物を一緒に食べたりした。

街頭調査に協力してもらった方にも日本のお菓子、折り紙を配った。



7. 留学の成果

今回の留学では、探究活動以外にもたくさんのことを学びました。語学学校での学習や色々な国の学生との交流を通して、英語で自分の考えを伝える力が向上し、内向的だった自分が積極的に行動できるようになったと思います。色々な国の友達と過ごすことで、アメリカだけではない色々な文化や言語に触れ、自分の知っていた世界がより広がった気がします。最初は緊張していたけれど、みんなとてもフレンドリーに話しかけてくれたおかげで、本当にたくさんの友達に出会えました。街の雰囲気や生きている動物も日本とは全然違うし、買い物や食事、地下鉄などもすべてが日本とは違う新しい体験だったのでとても良い思い出となりました。

